

## 平成 30 年度 第 4 回日本救急医学会男女共同参画推進特別委員会議事録

日時：平成 30 年 12 月 7 日（金） 11：00～13：00

場所：日本救急医学会事務所

出席：

委員長 畷本恭子

担当理事 田中 裕

委員 阿南 英明

小澤 昌子

木田 佳子

七戸 康夫

並木 淳

本多 ゆみえ

矢口 有乃

オブザーバ 赤星 昂己 （生労働省医師の働き方改革に関する検討会）

山下 千鶴 （藤田医科大学麻酔侵襲制御医学講座・日本血液浄化学会）

議事内容

1) 第 3 回委員会議事録確認

2) 第 46 回日本救急医学会総会・学術総会 振り返り

### i. シンポジウム

- ・ 活発な議論ができた。
- ・ アンサーパッド（百人会議）を導入したのは良かった。
- ・ 司会者自身が慣れていないためタイムリーに意見を取り上げるのは難しかったのではないかと。司会以外に意見を取り上げる人司会補佐を置くといいのではないかと。
- ・ 思った以上に聴衆が多かった。アンケート結果からは年齢層がある程度分散していたが、管理者クラスが目についた。
- ・ 厚労省のお話は、実臨床の実情を組んでくれていた印象を受けた。
- ・ 企画としてはまずまず成功であったのではないかと。
- ・ 働き方改革委員会：次回開催（開催日未定）後にメールで報告。おそらく当委員会から女性のことについて意見を求められるのではないかと？メールにて審議する。

### ii. 女性医師ラウンジ

- ・ 授乳室の設置：今回はラウンジから遠いポスター会場に設置。ラウンジの近くにすするなどの場所の工夫が必要
- ・ 保育園の定員 5 名と少なくキャンセル待ちが多かった、無料であった分定員が少

なかったのではないか？他学会は何人くらいの定員にしているのか？

- ☆ →麻酔科学会定員 50 名（1 人 3000 円），外科学会（無料だが定員の記載はなし），小児科学会 40 名（無料）など
- ・ 専門医取得・更新のための救急科領域講習の時間帯：朝早く，夜遅い，なかなか子供のいる女性医師，地方からの参加者からすると時間帯が厳しい，2つの部屋を講習専用にして日中に行うなどの工夫
- ・ アンケート結果からラウンジの名前を変えてはどうかという意見も多い
  - 例：“男性も女性も入れる”救急医師ラウンジ
- ・ ラウンジのスライドの依頼をもう少し早くかけて提供者を確保する.
- ・ ミニ講演は好評だった
- ・ 専門医の取得・更新についての質問も多かった.
  - →マニュアル作成・Q&A を使ってラウンジ担当者が答えられるように作ってはどうか
- ・ ラウンジのコンセプトは女性医師に対するというコンセプトは維持した方がいい.
- ・ 女性救急医の立場では専門医取得・更新のコンテンツをまとめる
- ・ 体験談になりがちなスライドだが，そうではなくて情報をまとめたコンテンツを配信する.
- ・ 専門医のキャリアの具体例をスライド作ってあげる
- ・ 専門医の更新よりも取得が難しい，女性医師は子育てしにくい
- ・ 地域枠の問題も今後も出てくるのではないか
- ・ 来年度のミニレクチャー（パネル？）案：専門医の具体的な取得方法，具体例を挙げながら.
  - 例：効率的に専門医をとる方法とは？
- ・ 非常勤医師の専門医更新についても考慮する必要あり

### 3) 協議事項

- i. 当特別委員会 5 期目を終えて振り返り
  - ・ 働き方改革はべつの委員会が立ち上がったので，当委員会は原点に戻り女性医師の支援に重点をおいてアピールしていく
- ii. 女性救急医バンク あるいは 施設情報バンク（働き方改革 松本委員長から）
  - ・ 女性救急医バンクを学会として情報提供
  - ・ 具体的アンケートを取る

### 4) その他

- ・ 矢口先生の理事推薦→2月以降に委員会担当理事に
- ・ 来年は田中先生主催（10月）
- ・ 当委員会単独で企画案
- ・ →具体的なものは今後でOK
- ・ 抄録が必要な場合：5月の連休明けに〆切予定（次回委員会 2019年2月）